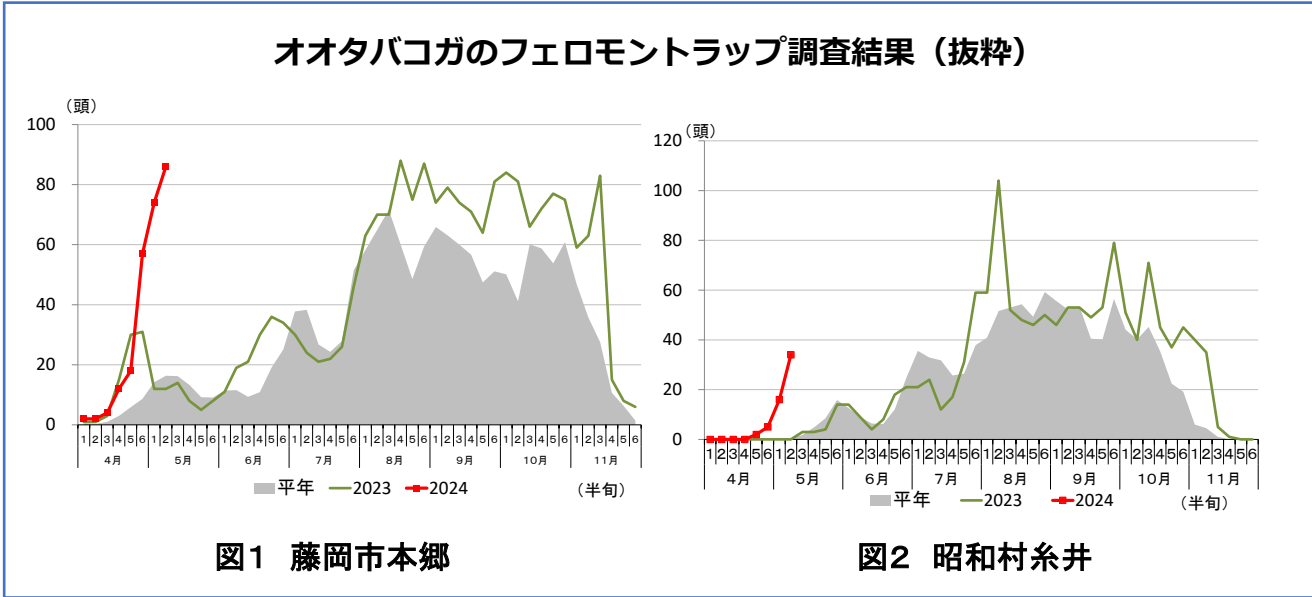


令和6年度 病害虫情報 第1号

<オオタバコガ>
トラップへの誘殺数が、6地点全地点で、平年より早い時期から増加し、平年に比べて多くなっています。

【今後、注意する事項】
次世代の幼虫の発生が早く、かつ量が多くなる可能性があります。
 発生状況をよく確認して、適期防除に努めましょう。



1 現在までの発生状況

フェロモントラップへの誘殺数が、6地点全地点で、平年より早い時期から増加し、平年に比べて多くなっています（図1、図2及び裏面の図3～6）。

2 予想される被害と防除対策

- (1) オオタバコガは、幼虫（写真1）が果実や花蕾、結球の内部に食入し、被害となります。
- (2) 防除適期は、ふ化してから食入する前の短い期間となります（食入した後は農薬がかかりにくくなります）。こまめにほ場を見回り適期に防除を行ってください。
- (3) 施設栽培では、開口部に防虫ネット等を張り、成虫の侵入を防いでください。
- (4) 向こう1か月の気象予報（5月9日気象庁発表）によると、平均気温が高くなる確率が80%で、オオタバコガの発生に好適な気象が予想されています。次世代の幼虫の発生が早く、かつ量が多くなると考えられます。今後の情報に注意してください。



写真1 オオタバコガ幼虫

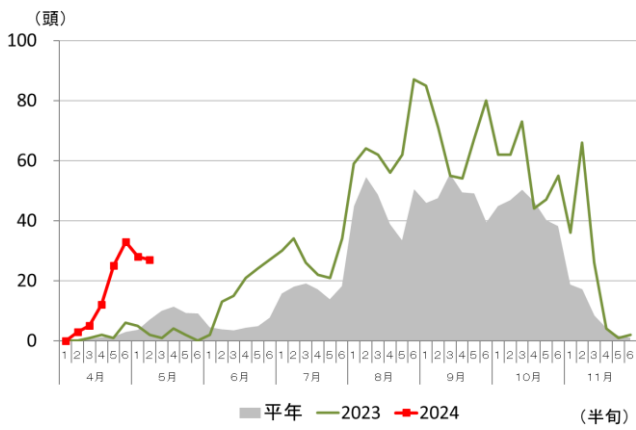


図3 前橋市江木町

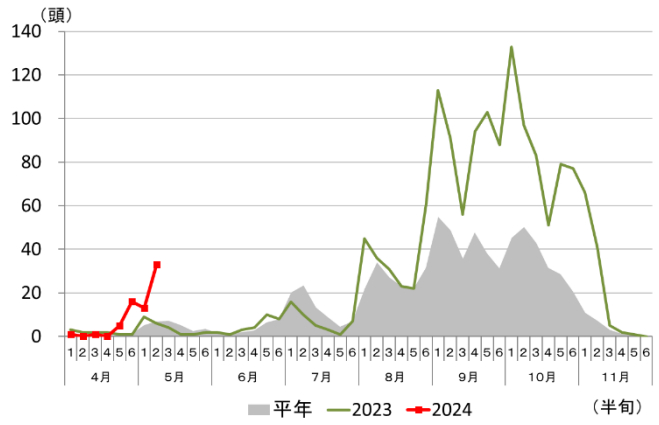


図4 伊勢崎市西小保方町

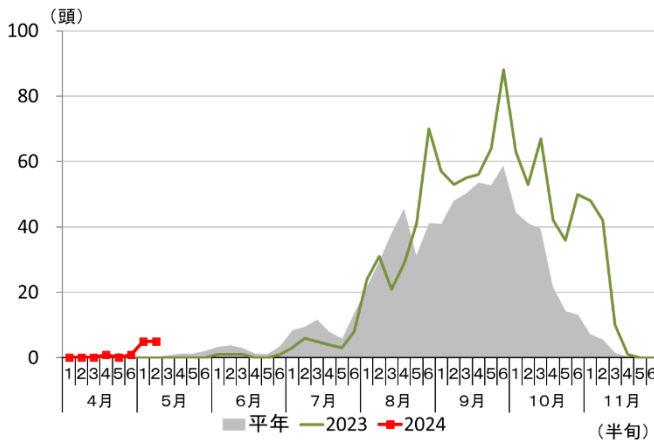


図5 東吾妻町植栗

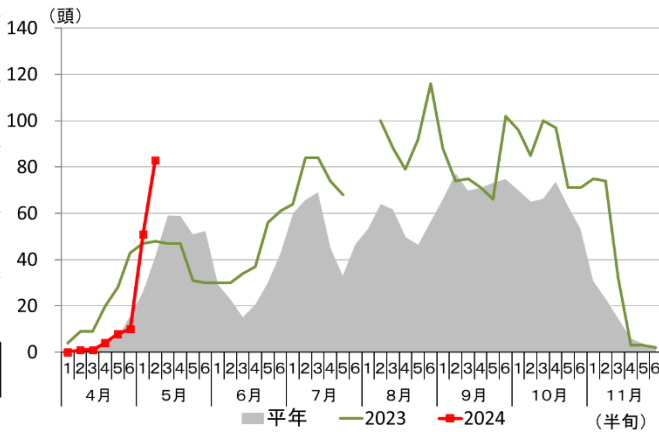


図6 太田市前小屋町

※ フェロモントラップ調査の最新情報は
群馬県農業技術センターのホームページに掲載しています。
<https://www.pref.gunma.jp/07/p14210015.html>



病害虫発生予察情報

お問い合わせ先：群馬県農業技術センター環境部発生予察係（病害虫防除所）
TEL 0270-62-1059

☆ 農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている使用方法、注意事項等を確認して適正に使用してください。